

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	上越教育大学
設置者名	国立大学法人上越教育大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
学校教育学部	初等教育教員養成課程	夜・通信	83	-	241	324	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページ：シラバス（大学院・学部） (http://www.juen.ac.jp/070graduate/010syllabus.html)
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 該当なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	上越教育大学
設置者名	国立大学法人上越教育大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページ：役員等紹介 (http://www.juen.ac.jp/050about/010info/070director.html)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	国立大学（他大学）副学 長	平成30年4 月1日～令 和2年3月 31日	総務，財務，施設， 労務
(備考) 本法人は、国立大学法人法別表で定める理事の員数が3名以下のため、学外者である理事の数は1名で可とされている。 なお、上記の理事は、令和2年3月31日に任期満了のため、その後任は、学外者である非常勤理事を選任する。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	上越教育大学
設置者名	国立大学法人上越教育大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバス作成にあたっては、本学シラバス作成要領により記載項目等の内容を定めている。</p> <p>掲載内容は、授業の到達目標、授業の概要、実務経験、授業時間外の課題等、授業計画・内容、成績評価の方法、テキストなどとしており、例年、3月中に授業担当教員に学務情報システムからの入力を依頼するとともに、4月当初に公表し、学生が授業開始前に確認できるようにしている。</p>																			
授業計画書の公表方法	<p>本学ホームページ：シラバス（大学院・学部） http://www.juen.ac.jp/070graduate/010syllabus.html 及び学務情報システムで公表</p>																		
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、本学学校教育学部履修規程において以下のように評価基準を規定し、シラバスに記載した成績評価の方法等に基づき実施している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>評価の基準点</th> <th>評価の結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>100点～90点</td> <td>合格（シラバスに記載された到達目標等を上回る水準に達している。）</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>89点～80点</td> <td>合格（シラバスに記載された到達目標等を十分に達成している。）</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>79点～70点</td> <td>合格（シラバスに記載された到達目標等を概ね達成している。）</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>69点～60点</td> <td>合格（シラバスに記載された到達目標等の最低限度の水準に達している。）</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>59点以下</td> <td>不合格とし、単位を与えない。（シラバスに記載された到達目標等に達していない。）</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、本学成績評価に対する異議申立てに関する取扱細則において、成績評価に対する疑義について、教員への相談や異議の申立の制度を設けている。</p>		評語	評価の基準点	評価の結果	S	100点～90点	合格（シラバスに記載された到達目標等を上回る水準に達している。）	A	89点～80点	合格（シラバスに記載された到達目標等を十分に達成している。）	B	79点～70点	合格（シラバスに記載された到達目標等を概ね達成している。）	C	69点～60点	合格（シラバスに記載された到達目標等の最低限度の水準に達している。）	D	59点以下	不合格とし、単位を与えない。（シラバスに記載された到達目標等に達していない。）
評語	評価の基準点	評価の結果																	
S	100点～90点	合格（シラバスに記載された到達目標等を上回る水準に達している。）																	
A	89点～80点	合格（シラバスに記載された到達目標等を十分に達成している。）																	
B	79点～70点	合格（シラバスに記載された到達目標等を概ね達成している。）																	
C	69点～60点	合格（シラバスに記載された到達目標等の最低限度の水準に達している。）																	
D	59点以下	不合格とし、単位を与えない。（シラバスに記載された到達目標等に達していない。）																	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>																			

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)													
<p>GPAについては、本学学校教育学部履修規程において規定しており、以下の方法により算出している。</p> <p>①履修し成績が付与された各授業科目の成績に対して、次に掲げるグレード・ポイント (GP) を与える。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">成績</th> <th style="text-align: left;">GP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S (90点～100点)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>A (80点～89点)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>B (70点～79点)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>C (60点～69点)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>D (59点以下)</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>②GPAは、次の算式により算出し、小数点第3位を四捨五入する。 (当該年度に成績が付与された各授業科目等の単位数×GP) の和÷ 当該年度に成績が付与された各授業科目等の単位数の和</p>		成績	GP	S (90点～100点)	4	A (80点～89点)	3	B (70点～79点)	2	C (60点～69点)	1	D (59点以下)	0
成績	GP												
S (90点～100点)	4												
A (80点～89点)	3												
B (70点～79点)	2												
C (60点～69点)	1												
D (59点以下)	0												
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>本学学校教育学部履修規程を本学ホームページ：国立大学法人上越教育大学規則集 (http://www.juen.ac.jp/050about/010info/100rule.html) に掲載するとともに、学生に対しては履修の手引でも周知している。</p>												
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。													
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)													
<p>卒業認定に関する方針は、所定の134単位を修得することにより、本学が考えている資質・能力を満たした者に対して、卒業を認定し、学士(教育学)の学位を授与することとしている。</p> <p>また、その判定に当たっては、教務委員会及び教授会において審議し、学長が認定している。</p>													
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>本学ホームページ：学校教育学部における卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針 (http://www.juen.ac.jp/050about/010info/H31faculty.html) に掲載するとともに、学生に対しては履修の手引でも周知している。</p>												

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	上越教育大学
設置者名	国立大学法人上越教育大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページ：財務諸表等 (http://www.juen.ac.jp/050about/070koukai/050admindoc/zaim/index.html)
収支計算書又は損益計算書	大学ホームページ：財務諸表等 (http://www.juen.ac.jp/050about/070koukai/050admindoc/zaim/index.html)
財産目録	該当なし
事業報告書	大学ホームページ：財務諸表等 (http://www.juen.ac.jp/050about/070koukai/050admindoc/zaim/index.htm)
監事による監査報告(書)	大学ホームページ：財務諸表等 (http://www.juen.ac.jp/050about/070koukai/050admindoc/zaim/index.html)

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称：平成31年度 国立大学法人上越教育大学 年度計画 対象年度：令和元年度)
公表方法：大学ホームページ：業務方法書及び中期目標・中期計画 (http://www.juen.ac.jp/050about/070koukai/040middle/index.html)
中長期計画(名称：国立大学法人 上越教育大学中期計画 対象年度：平成28年度～令和3年度)
公表方法：大学ホームページ：業務方法書及び中期目標・中期計画 (http://www.juen.ac.jp/050about/070koukai/040middle/index.html)

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：大学ホームページ：各種評価情報 (http://www.juen.ac.jp/050about/070koukai/080assessment/index.html)

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構ホームページ (http://www.niad.ac.jp/sub_hyouka/ninsyou/hyoukahou201503/daigaku/no6_1_1_jyouetsukyoiku_d201503.pdf)

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

<p>学部等名 学校教育学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ/学校教育学部における卒業認定・学位授与，教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針） http://www.juen.ac.jp/050about/010info/H31faculty.html</p>
<p>(概要) 「21 世紀を生き抜くための能力（基礎力・思考力・実践力）」を身につけ、「人間力（優れた人格・豊かな感性・未来創造力）」を備え，さらに「教育実践力（豊かな教養・高度な専門的知識・優れた教育技術・使命感・創造力・人間愛）」及び「学び続ける力」を有する教員を養成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ/学校教育学部における卒業認定・学位授与，教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針） http://www.juen.ac.jp/050about/010info/H31faculty.html</p>
<p>(概要) 学校教育学部で所定の単位を修得することにより，以下に示す資質・能力を満たした者に対して，卒業を認定し，学士（教育学）の学位を授与する。 ア 教職に求められる専門的知識を実践的に習得し，豊かな学識と優れた技能を身につけている。【基礎力】 イ 学校教育の様々な課題について，各領域で習得した幅広い知識をもとに，解決策を提案できる。【思考力】 ウ 一人一人の子供の学習と生活を支援できる，実践的指導力を有している。【実践力】 エ 教職に求められる専門的知識ばかりでなく，人間として求められる豊かな教養を身に付けている。【教育実践力】 オ 教育に対する熱意を持ち，教育者としての使命を自覚している。【教育実践力】 カ 人間の成長や発達についての深い理解と教育的愛情を備えている。【教育実践力】 キ 学校における教育実践を省察し，自らの専門性を高めていくことができる。【学び続ける力】 ク 善いものや美しいものに憧れる感性を備え，よりよい社会を目指して多様な人々と協働することができる。【人間力】</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ/学校教育学部における卒業認定・学位授与，教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針） http://www.juen.ac.jp/050about/010info/H31faculty.html</p>
<p>(概要) (1) 学校教育学部の目標達成に資するよう，カリキュラムは以下の科目で編成・実施する。 ア 教員の原点である人間理解を，体験と観察・参加を通じて実践的に深めることを目的とする科目（人間教育学関連科目）【基礎力・教育実践力・学び続ける力・人間力】 イ 初等教員として求められている教育的情報処理能力と表現能力を育成するための科目（相互コミュニケーション科目）【基礎力・人間力】 ウ 十分な基礎学力を補習するとともに初等の教科専門性を培い，更に専門科目への橋渡しをするための科目（ブリッジ科目）【基礎力・思考力・教育実践力】 エ 各教科の指導法，ガイダンス及び教育実習によって教育実践力を養成することを目的とする科目（教育実践科目）【基礎力・思考力・実践力・教育実践力・学び続ける力】</p>

オ 教員として必要な知識技能を修得したことを確認するための科目（教職実践演習科目）【基礎力・思考力・実践力・教育実践力・学び続ける力】

カ 各専修・コースごとに専門科目，専門セミナー及び実践セミナーから構成され，総合的かつ専門的な問題解決能力の形成を目指すための科目（専門科目）【基礎力・思考力・実践力・教育実践力】

キ 専修・コースの専門科目に関する修業を集約発展させて，その成果をまとめ上げるための科目（卒業研究）【思考力・学び続ける力】

(2) 学修成果の評価については，スタンダードやルーブリックをもとに，各科目の評価基準をシラバスにおいて明示するものとする。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページ/学校教育学部における卒業認定・学位授与，教育課程編成・実施及び入学受入れの方針及び学生募集要項）

<http://www.juen.ac.jp/050about/010info/H31faculty.html>

（概要）

(1) 本学では，以下に掲げる学生を求めている。

ア 教員を目指すために十分な幅広い基礎学力を修得している。【基礎力】

イ 物事を多面的かつ論理的に考察することができ，自分の考えを適切な方法で表現し，他者に伝えることができる。【思考力】

ウ 生活や社会，環境の中に問題を見出し，多様な人々と関わりながら，課題を解決していくことができる。【実践力】

エ 教員を目指す強い意志を持ち，積極的に学修を進めていくことができる。【学び続ける力】

オ 自分らしい生き方を教職との関係において追究し，人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。【人間力】

(2) 以上の受入れの方針に基づいて，本学では，一般入試（前期日程），一般入試（後期日程），推薦入試の三つの方法で選抜を行う。

ア 基礎力を評価するため，三つの選抜方法とも大学入試センター試験を課す。

イ 一般入試（前期日程）では，実技教科への基礎的適性を含むバランスのとれた基礎力を有し，思考力と実践力を備えた学生を選抜する。基礎力を評価するため，上記アに加え，実技検査（音楽・美術・体育のうちから選択）を課す。また，思考力・実践力を評価するため，小論文と集団面接試験を課す。

ウ 一般入試（後期日程）では，上記アに加え，特に学び続ける力と人間力に優れた学生を選抜するため，主に教職への強い関心・意欲と人間性を高めようとする意志に関して質問する個別面接試験を課す。

エ 推薦入試では，上記アに加え，特に実践力と人間力に優れた学生を選抜するため，高等学校等の段階での経験・活動実績を踏まえて総合的に質問する個別面接試験を課す。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページ：公開情報の大学の教育活動に関する情報－学校教育法施行規則第172条の2に規定する情報－

(<http://www.juen.ac.jp/050about/070koukai/060rule/index.html>)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
大学院学校教育研究科	—	74人	54人	4人	8人	0人	140人
その他	—	15人	4人	0人	0人	0人	19人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		31人				31人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法：本学ホームページ/研究者データベースにて公表 http://staff.juen.ac.jp/search/index.html?lang=ja&template=template1						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
教員相互の授業参観，アクティブ・ラーニングを推進するためのワークショップや講演会，研究倫理に関する研修会，新任教員を対象とした研修会などを開催							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
学校教育学部	160人	168人	105%	640人	678人	106%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	160人	168人	105%	640人	678人	106%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
学校教育学部	165人 (100%)	22人 (13.3%)	125人 (75.8%)	18人 (10.9%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	165人 (100%)	22人 (13.3%)	125人 (75.8%)	18人 (10.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
主な進学先 … 上越教育大学大学院学校教育研究科				
主な就職先 … 新潟県公立学校教員，長野県公立学校教員 等				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
学校教育学部	167人 (100%)	159人 (95.2%)	5人 (3.0%)	3人 (1.8%)	0人 (0%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	167人 (100%)	159人 (95.2%)	5人 (3.0%)	3人 (1.8%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) シラバス作成にあたっては、本学シラバス作成要領により記載項目等の内容を定めている。 掲載内容は、授業の到達目標、授業の概要、実務経験、授業時間外の課題等、授業計画・内容、成績評価の方法、テキストなどとしており、例年、3月中に授業担当教員に学務情報システムからの入力を依頼するとともに、4月当初に公表し、学生が授業開始前に確認できるようにしている。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 成績評価は、本学履修規程において以下のように評価基準を規定し、シラバスに記載した成績評価の方法等に基づき実施している。 評語 評価の基準点 評価の結果 S 100点～90点 合格（シラバスに記載された到達目標等を上回る水準に達している。） A 89点～80点 合格（シラバスに記載された到達目標等を十分に達成している。） B 79点～70点 合格（シラバスに記載された到達目標等を概ね達成している。） C 69点～60点 合格（シラバスに記載された到達目標等の最低限度の水準に達している。） D 59点以下 不合格とし、単位を与えない。（シラバスに記載された到達目標等に達していない。） また、本学成績評価に対する異議申立てに関する取扱細則において、成績評価に対する疑義について、教員への相談や異議の申立ての制度を設けている。				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
学校教育学部	初等教育教員養成 課程	134 単位	⑦・無	48 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：該当なし		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：該当なし		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページ：大学紹介

(<http://www.juen.ac.jp/050about/020campus/index.html>)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
学校教育 学部		535,800 円	282,000 円	0 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

修学支援の一環として、オフィス・アワーを実施している。オフィス・アワーとは、教員が各研究室等において、学生から履修相談や授業に関する質問等の相談に応じるため、あらかじめ設定した時間帯をいう。この時間帯に研究室等に行けば必ず教員に会うことができ、履修上の問題解決に役立つ取り組みを行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

就職や進路に関する相談や情報提供をプレイメントプラザにおいて行っている。プレイメントプラザでは、就職・進路に関する各種資料を揃えており、学生はこれらを自由に閲覧でき、様々な自治体毎の教員採用試験過去問題集や参考書を利用し学習できる環境を提供している。また、キャリアコーディネーター（公立学校の校長職経験者）が学生に対して個別指導（論作文・自己PR文の添削、面接対策等）し、丁寧な就職支援を行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生及び教職員の心身の健康保持と増進を図ることを目的として、保健管理センターを設置している。ここでは、専門の職員が学生等の心身の健康状態を客観的に把握し、指導・助言を行っている。また、各種の疾病や怪我に対しての応急処置も行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページ：公開情報の大学の教育活動に関する情報－学校教育法施行規則第172条の2に規定する情報－

(<http://www.juen.ac.jp/050about/070koukai/060rule/index.html>)